

## べっ甲業界へのデザイン支援

○上野 明也\*1)

1. はじめに

東京都指定伝統工芸の「江戸鼈甲（べっ甲）」を作る東京都鼈甲組合連合（以下、組合）より新たなべっ甲製品の開発依頼があり、都産技研と共同で商品企画開発を行った。従来のべっ甲製品（図1）は眼鏡やアクセサリ関係が中心で、比較的高齢の方がべっ甲製品を利用しているが、より多くの方にべっ甲を知ってもらい、そして新しい販路を開拓するために、今までに無い新しいべっ甲商品を共同で開発することになった。



図1. 従来のべっ甲製品

2. 実験方法

まず、商品企画セミナーを開催し、組合が商品企画の手法を学んで商品企画書を作成する。その企画書を基にアイデアスケッチを行い、その中から3、4点程度の試作品を作成することとした。試作品は三次元CADを利用して設計後、べっ甲部分は設計データに基づき組合が作成し、その他の部分の制作は都産技研がナイロン粉末造形機（図2）を使用して造形し、仕上げ塗装を行うことを考慮に入れた。すべての試作品は、実際に使用できるレベルにすることにより、展示会等に出展しアンケートやモニターリサーチ等を行えることを目標とした。

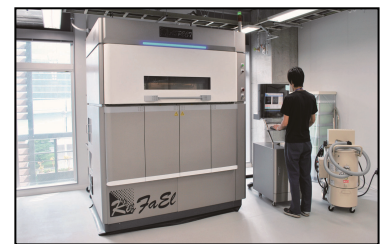


図2. ナイロン粉末造形機

3. 結果・考察

組合が作成した企画書からアイデアスケッチを20点程度作成し、その中からランプシェード、箸、ネームプレート、カチューシャを試作した。開発製品の特徴として、ランプシェードは従来の電球では発熱の問題があり熱に弱いべっ甲では実現できなかったが、低発熱のLEDライトを使用することにより解決した。そして、べっ甲のシンボルマークである六角形をモチーフにして形状をまとめた。べっ甲から通された暖かい光が美しく部屋を灯すことができた（図3）。試作品完成後、東京都伝統工芸品展、雑貨EXPO等の展示会に出展し、多くの反響を得ることができた。また、べっ甲ランプシェードが第7回東京の伝統工芸品チャレンジ大賞にて優秀賞を受賞した。展示会等で得られたさまざまな意見や反響を基に、商品化へとつなげていく予定である（意匠登録 第1433084号、第1439104号、実用新案登録 第3170441号）。



図3. べっ甲ランプシェード

4. まとめ

伝統産業である「江戸鼈甲」に新しい技術やデザイン要素を加えることにより、今までにない新しい商品を開発することができた。これにより新しい市場が開拓され、べっ甲業界が活性化されることを期待したい。今後は、貴重な材料であるべっ甲を有効に利用するために、さまざまな技術やデザインを活用することによって、さらに新しいべっ甲製品を開発する予定である。

\*1)システムデザインセクター